

青少年の健全育成について

鈴木 哲也 議員

○ ネットパトロールを行う目的を伺います。

○ ネット上でのいじめ、非行、犯罪などのトラブルを早期に発見することにより、青少年が犯罪被害に巻き込まれない、もしくは加害者とならないよう、学校や関係機関と連携を図りながら、指導を行うものです。

○ 総合基本計画の前期計画では、ネットパトロールの活動件数の目標値を3千500件としています。目標達成に向

鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画について

葛山 繁隆 議員

○ 鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画の目的について伺います。

○ 道路における歩行者等の通行環境の整備は、市民の命を守る観点から大変重要であり、交通安全対策や道路整備を行っています。歩道の整備は、用地の確保や多額の費用がかかるため、完了まで長期にわたることから、即効性のある対策とはならないのが現状です。そのため、歩道がない幹線道路や生活道路などにお

聴覚障がい者(児)の施策について

佐竹 知之 議員

○ 既に助成対象となっていない障がい者や生活保護世帯以外で、高齢聴覚者に補聴器購入の助成をしている自治体は、県内で、船橋市と浦安市の2市のみであると以前の一般質問において確認しましたが、その後、自治体数に変化はないか伺います。

○ 国では、医師等の診療や治療を受けるために直接必要な補聴器の購入費用を医療費控除の対象としています。市

○ 県内では船橋市と浦安市の2市で、現在も変化はありません。

アフターコロナにおける本市の課題と対応策について

河内 一朗 議員

○ 高齢者の孤立を回避するためにオンラインの活用も一つの手段と考えますが、市の見解を伺います。

○ 新しい生活様式に沿った介護予防の取り組みの一つとしてオンラインの活用は重要なものと考えています。先進的に取り組んでいる機関等もあることから、情報を収集し、活用いただけるよう取り組んでいきます。

○ 子どもたちがSOSを出しやすい環境の整備やSOSの出し方に関する教育について伺います。

○ 悩みを自分だけで抱え込まず、周りへ助けを求めめるなどSOSの出し方に関する教育を推進するほか、ネットパトロールの実施、スクールカ

子どもに係る国民健康保険料等の均等割額の軽減措置の導入について

松原 美子 議員

○ 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の改正により、国民健康保険料の軽減対象となる子どもの人数と世帯数を伺います。

○ 均等割保険料の軽減対象は未就学児であり、令和3年10月20日現在の人数は561人、世帯数は432世帯です。

○ 均等割保険料の軽減実施に必要な予算とその財源について伺います。

鎌ヶ谷市は地球温暖化対策として温室効果ガス削減に向けて具体的にどう取り組んできたか、また今後の方向性を問う

津久井 清氏 議員

○ 本市の事務事業における温室効果ガス排出量の変化について伺います。

○ 2010年は約3千700トンCO₂でしたが、2014年度以降は4千トンCO₂を超え、増加傾向となっています。

○ 温室効果ガス削減に向けた太陽光発電などの導入状況について伺います。

○ 本市では、平成30年度以降、新たな太陽光発電設備の導入はありません。

○ 太陽光など自然エネルギーによる発電システムに対する市の補助金の活用状況はどうですか。

○ 令和2年度の住宅用再生エネルギー・省エネルギー設備設置促進事業補助金の実績

○ 障がい者理由とする差別の解消の推進について

○ 障害者差別解消法において行政機関や民間事業者にはどのようなことが求められていますか。

○ 1つ目として、障がいを理由として、正当な理由なくサービスの提供を拒否したり、制限や条件をつけるような行為の禁止があります。2つ目として、障がいのある人から何らかの配慮を求められた場合に過重な負担とならない範囲で社会的障壁となるものを取り除く合理的配慮の提供が

○ 法改正により、合理的配慮の提供が民間事業者にも義務化されることを踏まえ、鎌ヶ谷市バリアフリーマップに障がい者にとってより役立つ情報を載せて欲しいとの声があります。商工会との連携を含めた取り組みについて市の見解を伺います。

○ バリアフリー化している店舗等について積極的にマップに掲載するとともに、利用しやすい環境となるよう、障

3回目の新型コロナワクチン接種における課題と対応について

宗川 洋一 議員

○ 1、2回目の接種での課題や反省点を踏まえた3回目接種の対応について伺います。

○ 予約の取りにくさを解消するため、コールセンターやウェブへの予約が一時期に集中しないよう、接種券の発送を5千通前後に調整し、段階的に発送します。さらに、発送数に応じた予約枠を数か月単位で設定します。また、コールセンターの回線数を増設することを検討します。

○ 1点目は、ファイザー社製ワクチンとモデルナ社製ワクチンの交互接種への対応、2点目は、2種類のワクチンの配分量の課題、3点目は、インフルエンザワクチン接種との接種間隔を原則13日以上空けることの周知、4点目は、対象年齢の引下げ等、今後の国の接種体制の変更への対応などが考えられます。

は、太陽光発電システムが58件、リチウムイオン蓄電池システムが47件などで市民の関心の高さがうかがえます。

○ 補助金の額を拡大してほしいと考えますが、市の見解を伺います。

○ 補助金があることで、市民がCO₂排出削減策に取り組みやすくなることから、必要な予算の確保に努めていきます。

害物の除去や通路の確保など、可能なところから協力いただけるよう、商工会に呼びかけしていきます。



第4次鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画

